



## 校門を閉じて1年になります

6/5(水)に不審者対応避難訓練・防犯教室を実施しました。その様子は学校ホームページでも紹介中です。訓練等の成果として、この1年間、大きな事件事故の無いことに感謝しています。同時に、本校の校門を閉じて1年なのだとふり返りました。

昨年の本活動の打合せで、阿南警察署生活安全課の警察官の方にかがいました。「来校者に退去を命ずる法的根拠はあるか」と。



返答は、「管理者の許可無く入ってはならないことをはっきり示すこと」でした。そこで、早速校門に右の看板を掲げました。また、その頃、宮城県で、校内に軽トラックが進入し児童3人を傷つける事件が発生しました。通用門が開いていたから入ったとのことでした。ならば、校門を閉じようと考え、以来、原則閉門しています。

給食運搬をはじめ、各業者の皆様にはお手数をおかけしていますが、ご理解ご協力をいただいています。

許可なく校内への  
立入を禁止します。  
福井小学校長

さて、防犯教室では“登下校中に見知らぬ人(不審者；不)から声をかけられました。どうしますか？”と問われ、ロールプレイ(役を演じる小さな劇)を行いました。



①登校時 不「おはよう」…児童「〇〇〇」、いろいろな答え方はあるでしょうが、無視して通り過ぎるのは止めるべきだそうです。言葉も交わさないコミュニティに、不審者は入ってきやすいのです。通りすがりの「おはようございます」の挨拶は、自分を守る言葉にもなります。



②下校時 不①「ねえ、名前教えて」…児童「〇〇〇」、(一歩近づく)不②「近くのコンビニ教えてくれない」、これも、無視するのは相手の感情を逆なでするので望ましくありません。「(名前?)知らない人には教えられません」「(コンビニ?)わかりません」など、やんわりと差し障りなく返答し、相手が近づいてきたら同じだけさがって距離を取りつつ、Uターンして一気に離れる。

①②とも、落ち着いた丁寧な対応が大切です。無視や乱暴な言葉は逆効果です。これはTPOに応じたコミュニケーション力の育成が大切なのだとも感じました。そして、離れられたら、できるだけ早く大人(家族や先生)に知らせ、警察に連絡するようにと学習しました。

※ 救急救命法講習会を実施したところ、保護者の方々にもご参加いただきありがとうございました。